

「JISA Spirit」を実現する“革命プロジェクト”、始動

JISA は、昨年発表した「JISA Spirit」に基づき、ソフトウェアはすべての産業の基盤として社会を変えていく（Software Defined Everything）ことを具体化する2つの革命プロジェクトを立ち上げる。一つはパラリンピック支援プロジェクトであり、もう一つは中学校デジタル化プロジェクトである。

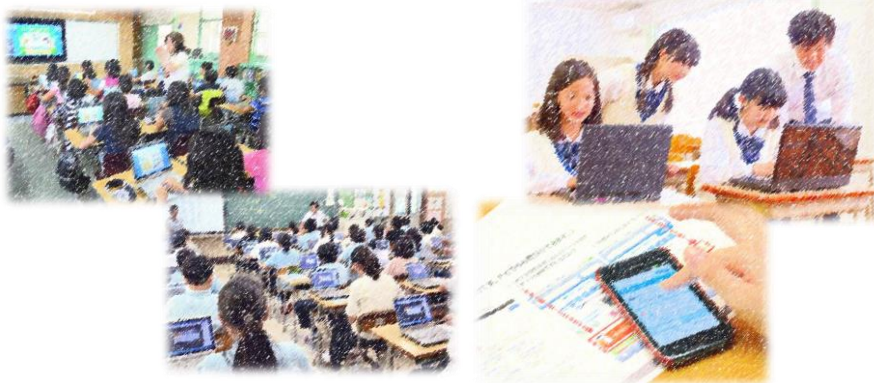
革命プロジェクトは、ソフトウェアでどうビジネスを創るかを実践することにより、従来の受託型ビジネスを提案型ビジネスへと転換していく契機とすることを目指している。最初は正副会長会社からメンバを募り、基本的な部分を検討することとなった。

第1回中学校デジタル化プロジェクトを開催

なぜ中学校デジタル化か

4月26日に中学校デジタル化プロジェクトの初回会合が行われた。最初に横塚会長より「なぜ中学校デジタル化か」について、デジタル技術により教育の質的変革を図りたい、プログラミング教育も重要だがデジタルで“教え方”を変えたい、日本は教育のデジタル化が遅れている（残念だ）、我々はソフトウェアの“プロ”であり学校のデジタル化を提案していきたいと趣旨の説明があった。

◆ デジタル技術により、中学校の教育をいかに変革することができるか



ペルソナ校の選定

初回会合では、横塚会長より青翔開智中学校・高等学校を中学校デジタル化のペルソナ校とすることが提案され、了承された。同校の取組については、学校評議員を務める佐藤千里氏（(株)Gene-insight 社長）より紹介があった。同校は、①アナログ的教育手法とデジタル的教育手法の融合、②アナログ世代とデジタル世代の共存、③閉ざされた学校から地域に開かれた学校へ等をコンセプトとしている。特徴は、生徒には“どんなスキルがあるか見極め”、“やりたいことをやらせる”ことを方針としていること。高1までに高3までの課程を修了させ、あとは「探求型学習」が中心であり、東大よりもスタンフォード大に進学することに価値が認めている。



検討内容と今後

当日は、次のような意見交換があった。

- ・ ICT は道具であり、生徒の興味を育てる教育が大切。
- ・ ビジネススクールの中学校版という印象がある。
- ・ 全体の底上げか、ぶっ飛んだ人間を創るか、教育目的により違いがある。
- ・ 世界で一番進んでいる中学校はどこだろう。
- ・ 青翔開智ではシンガポールの教育をベンチマークとしている。
- ・ これほど進んでいるのでは IT 業界として何ができるか？
- ・ より良くするための提案を考えることが大事だ。

今後は、ペルソナ校について「知る」「見て聞く」「考える」を実践するため、6～7月頃に訪問することとなった。

(手計)